



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

景気回復加速化へ

平成25年度予算案(一般会計総額92兆6115億円)が4月16日の衆院本会議で可決されました。これにより、安倍政権が最優先課題とするデフレ脱却と経済再生のために重点化した今年度予算は、5月中旬には成立することが確実になりました。

今年度予算案は当初予算案としては過去最大の規模で、安倍内閣が24年度補正予算(総額13兆1054億円=2月26日成立)と合わせて、切れ目ない経済対策を進めるため、積極的な財政出動を図ったものです。

安倍政権は、わが国経済を再生させるための対策として第1の矢(大胆な金融政策)、第2の矢(機動的な財政政策)を放ったことになります。いま、第3の矢(民間投資を喚起する成長戦略)を放つ準備をしています。

アベノミクスで雇用と所得が増える強い経済を必ず取り戻すために全力で取り組んで参ります。



参議院の予算委員会で答弁する秋葉厚生労働副大臣

秋葉厚生労働副大臣 Active Photography

第1回 健康寿命をのぼそう!アワード

栄えある第1回アワードに際し、受賞の栄に浴された自治体・団体・企業の関係者の皆様の優れた取り組みに対してお祝いを申し上げます。

厚生労働省では、2000年より「健康日本21」を推し進め、国民の健康増進や生活習慣病予防に取り組んでまいりました。「スマートライフプロジェクト」と、今回のアワードもその流れの一環です。社会保障制度を持続可能なものにしていくためにも、社会全体での応援が必要です。健康づくり運動が一層推進されることを期待します。



厚生労働副大臣 秋葉賢也氏
社会全体で健康寿命をのぼす



3月23日 日経新聞第18面より抜粋

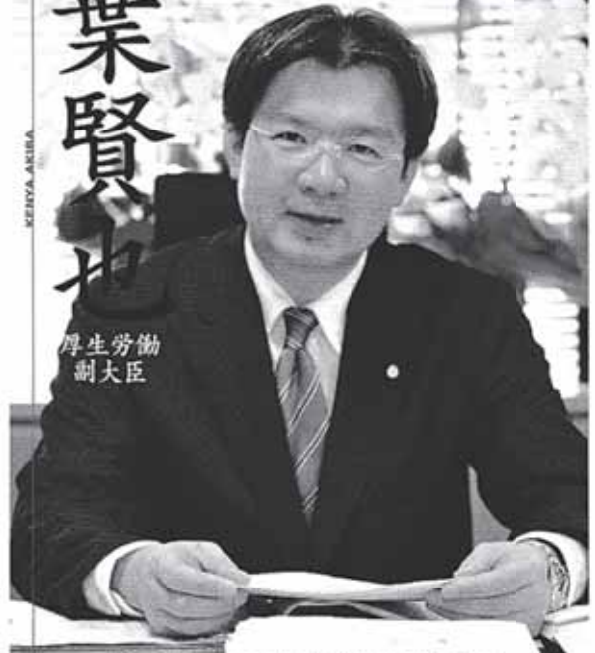
Special
MHLW
TOP
INTERVIEW

「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」のポスターの前で



秋葉賢也

厚生労働副大臣



座右の銘●「努力+才能<志 (努力+才能も大切だが、志に勝るものはない)」、趣味・特技●映画、音楽、スポーツ、書道 (二段)

あきば・けんや

1962年、宮城県生まれ。衆議院議員(当選4回)。87年、中央大学法学部卒業。93年、財団法人松下政経塾卒業(第9期生)。95年より宮城県議会議員(3期10年)。05年、衆議院議員に初当選。自民党副幹事長、総務大臣政務官、党外交渉部長代理、党厚生労働部会長代理、同厚生関係団体委員会委員長等を経て現職。復興副大臣を兼務。著書に「松下幸之助(最後の言葉)」など。

将来に対する不安を払拭するための 仕組みづくりが最大の使命

「将来に対する安心感をどう打ち出していけるのか」ということが、わが国の社会保障制度ではないでしょうか。重要なのは、負担と受給のバランスを考えて財源の安定化を図りつつ、国民の皆様が将来に対する不安を払拭していただくような仕組みづくりが最大の使命だと思っています。

また、私は東日本大震

災の被災地出身者ですが、各地域の実状に合わせた迅速な復旧・復興を行うためにはルールの見直しが必要で、これについてもしっかりと取り組んでいきます。4月1日から、地域観光の活性化のための「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」が始まります。多くの人に足を運んでいただければ、お願いいたします。

秋葉副大臣による記者会見



違法ドラッグ対策について



新たながん研究戦略の策定について

厚生労働省における国際協力

国連薬物犯罪事務所 (UNODC) ユーリ・フェドートフ事務局長による表敬訪問



ドイツ連邦保健省 アネッテ・ビドマン・マウツ 政務次官による表敬訪問



秋葉副大臣 国立成育医療研究センターをご訪問

国立成育医療研究センターの概要

国立成育医療研究センターって？

「成育医療」とは、胎児期、新生児期、乳幼児期、学童期、思春期を経て次世代を育成する成人期にまで至る「人のライフサイクル」の過程で生じる様々な健康問題を包括的に捉え、適切に対応することを目指した医療をいい、国立成育医療研究センターでは、次世代の成育医療を担う医療機関関係者と研究者の育成の機能も果たしております。



国立成育医療研究センターの概要について五十嵐総長からご説明頂きました。

救命医療

センター屋上に設置されたヘリポートを視察



小児集中治療室には、小児重症患者の搬送に備えた「小児緊急搬送チーム」が24時間待機。



CT撮影室



放射線治療室

医学研究の最前線



遺伝子治療(ゲノム解析)の現状について説明頂きました。

再生医療の展望と課題について関係者からお話を伺いました。



医薬品開発と製造の現況にアクセス! 武田薬品工業(株)湘南研究所等を視察

武田薬品工業(株)湘南研究所



武田薬品工業株湘南研究所は、創薬イノベーションの加速化を図るためのグローバル研究拠点として、大きな役割を果たして頂いております。



秋葉副大臣は、同研究所の医薬品のシードとなる化合物を探索する「探索研究」や化学構造と薬理作用の関係を分子レベルで行う「合成研究」現場を視察させて頂きました。

テルモメディカルプラネックス



「テルモメディカルプラネックス」は、総合医療トレーニングセンターです。秋葉副大臣は、「ホスピタルスタジオ(ICU、病棟等、現実の病院機能を再現したスタジオ)」を視察致しました。



施設内の展示場もご見学。

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA)

PMDAは、健康被害救済(医薬品による副作用等)、承認審査(医薬品や医療機器の品質、有効性及び安全性の承認)、安全対策(医薬品や医療機器の市販後の安全性に関する情報の収集・分析・提供)の観点から、医薬品・医療機器のリスクマネージメントを行っております。ご視察では、幹部職員より同機構の概要について説明頂きました。



承認審査実務等についてご説明頂きました。

東京拘置所視察 「更生保護を考える議員の会」

「更生保護を考える議員の会」による東京拘置所の視察が行われ、秋葉賢也事務局長は、「収容定員3000人の東京拘置所には、現在1748名が収容され、被収容者の人権が尊重されていると感じた」と感想を述べられました。



【活動ブログ】 www.akiba21.net 【ツイッター】 @akibakenya 更新中! 秋葉賢也 検索

八戸・相馬長距離歩道 「みちのく潮風トレイル」

八戸市から相馬市までの太平洋沿岸歩道が、「みちのく潮風トレイル」と愛称づけられました! また、右のマークが、そのシンボルマークに決まりました。そして、愛称も、シンボルマークも、**仙台市在住の方の作品**です!



秋葉復興副大臣 仙台湾南部海岸堤防完成式に出席



仙台湾南部沿岸の堤防復旧は、平成27年度までの5年間で、整備・完成される予定です。

タウンミーティング (国政報告会) 秋葉厚生労働兼復興副大臣と意見を交換して みなさんの声でより良い政治を創りませんか。

- 5月18日(土) 泉区
18時30分 @向陽台コミュニティーセンター
- 5月24日(金) 宮城野区
19時 @新田コミュニティーセンター
- 5月25日(土) 若林区
18時30分 @連坊コミュニティーセンター

村井嘉浩宮城県知事、奥山恵美子仙台市長より ご要望を賜りました



復興の加速化へ



秋葉副大臣、小泉進次郎青年局長 TEAM-11(チームイレブン)が、県内の市議会議員長の皆様と、復興施策について意見交換致しました。



厚生労働委員会・震災復興特別委員会 ～秋葉副大臣が答弁～



3月25日
復興特別
委員会にて

3月28日
参・厚生労働
委員会にて

第8回 社会保障制度改革国民会議



「健康保険法改正案」衆院 での議了を受け、厚労省政務 三役による挨拶回り



厚生労働省 幹部会議



復興庁 幹部会議



仙台⇄東京

秋葉厚生労働・復興副大臣の活動報告写真

多くの皆様にご購読いただき心より感謝申し上げます。全国の主要書店やアマゾン等のインターネットでもお求めいただけます。

『松下幸之助
「最後の言葉」』
秋葉賢也著(角川SSC新書)定価760円

毎週金曜午後7時30分～

賢ちゃんの
いとしのサザンPartⅢ

秋葉賢也のラジオ番組「賢ちゃんのいとしのサザンPartⅢ」が、毎週金曜午後7時30分より、FMいずみ(79.7MHz)にて放送中です。ぜひお聞きください!

～ kenya's PLOFILE ～

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、50才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- (助)松下政経塾卒業(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(二期)を務める。
- 厚生労働副大臣および、復興副大臣。衆議院議員(四期目)。
- 著書:『松下幸之助「最後の言葉」』(角川SSC新書)、『地方議会における議員立法』(文芸社)、『東北の夢創造』(ぎょうせい)。
- 趣味:スポーツ・音楽・映画。
- 特技:書道二段・空手初段。
- 尊敬する人:マザーテレサ、松下幸之助。
- 好きな言葉:努力+才能<志(努力や才能も大切だが、志に勝るものはなし)

秋葉賢也
事務所
www.akiba21.net
仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057
購読料 年額6,000円
編集 株式会社アキバ

※ お願い 本紙「サポータータイムズ」を是非ご購入ください
⇒ お申込みは仙台事務所までお電話(☎022-375-4477)を!!

ハガキや切手を、是非、カンパ下さい!!